

# 登戸学寮ニュース

公益財団法人 登戸学寮  
〒214-0032  
神奈川県川崎市  
多摩区枳形 6-6-1  
発行人 福島 穆

## 「登戸学寮ニュース」発行に当たって

理事長 福島 穆



日頃から登戸学寮へのご支援に厚く感謝申し上げます。お陰さまで、学寮も若き寮長を一年前に迎え、お守りのうちに無事運営されています。

さて、この度、新たに、「登戸学寮ニュース」を発行することになりました。従来、卒業生向けの「寮友会ニュース」と、主

として在寮生の保護者向けの「登戸学寮通信」がありました。が、これらを統一することによって、より効率的な情報の発信が出来るとの考えからであります。当面、年に二、三回程度の発行を予定しておりますが、是非ご愛読頂き引き続き、登戸学寮への更なるご理解を頂きますようにとお願いいたしております。

また、ご愛読頂きます皆様方のご意見、ご批判、ご提案などのご投稿を歓迎致します。出来ますれば、皆様のご投稿

のページを作りまして、学寮を中心とした、交流の場としての役割に発展することが出来れば大いに有難く存じます。

少子高齢化が進んでいる。今、大学就学人口は減少の一途をたどっておりますが、学生を取り巻く環境は、就職、生活費などの面で厳しさを増しております。創立者、黒崎幸吉が「学寮創立趣意書」の中で憂っていましたように、大学が益々就職のための機関と化しつつあります。この時に当たり、次代を背負う若者を世に送るといふ登戸学寮の持つ本来の使命は重要さを増しております。

### ※ 目 次 ※

- 「登戸学寮ニュース」発行に当たって 理事長 福島 穆…………… 1
- 寮の行事紹介…………… 1
- 聖書のごとは『創世記』二一章 1-9 節…………… 3
- 理事会・評議員会報告…………… 4
- コラム 俳句鑑賞の手引き(1) 俳人(学寮員) 岸本尚毅…………… 5
- 寮友会より…………… 6
- ご挨拶 寮友会会長 蟹江雅彦  
キャリア情報提供制度(案内)  
卒寮生コメントコーナー  
私たちは同県人です  
同期生消息  
寮友会総会のご案内…………… 10
- ご案内…………… 10

## 寮の行事紹介

◆黒崎幸吉記念キリスト教講演会

六月五日(日)、今井館聖書講堂において、毎年恒例の黒崎幸吉記念キリスト教講演会を登戸学寮主催で開催しました。当日は、会場の設営、受

付、最寄駅からの道案内、会場の誘導、片付けなどの全ての業務を、寮生が主体となつて担ってくれました。

本年度の講演会の前半は、学寮にお寄せいただいている御寄付の使途のひとつとして



昨年度に正式に整備された「寮生活動支援」を受けた寮生による報告の場とさせて頂きました。この日、「南半球で過ごした二週間」と題して登壇したのは、昨年度に助成を受けた寮生の一人である新川真帆さんです。彼女が参加したのは、二〇一五年度より東京大学が新たに開講したプログラムの一環で、オーストラリアの首都キャンベラにあるオーストラリア国立大学（ANU = Australian National University）に二週間滞在し、現地の大学の学生と勉強や生活を共にして、日本とオーストラリアを分野横断的に学ぶ

ことを目的とするものでした。講演では、提供されたコースにただ単に参加したというだけでなく、自らが主体的に設定した①オーストラリアを知る、②現地学生と交流する、③英語力を伸ばすという目的について触れつつ、参加したコースの概要、授業の内容、自由時間で訪れた先での経験について語り、①オーストラリアが先住民の文化、先住民と白人の間の歴史、日本とは異なる固有の自然を持つこと、



②現地では日本人同士で固まってしまう前に、自分の方から他者に話しかけ、やりたいことを積極的に行動に移すことの重要性、そして③講義や毎日の課題への取り組み、日常での会話を通じて、本当の意味での英語習得を果せたと統括されました。

もう一つの講演は、学寮OBで俳人として著名な岸本尚毅氏が、「私が今取り組んでいること」と題して、前半では、お勤め先の日本卸電力取引所が行っている業務の内容について、今や我々の生活に欠くことのできない電気がどのよ

うな取引を経て各家庭に送られるつつあるのか、そして後半では、俳人としてのお顔を發揮されて、俳句における季語と、そこから今日の私達が感じる季節感との微妙な関係について解説していただきました。

二つのお話に共通していたのは、キリスト者であるか否かを超えて、我々がより根源的に、人間として何に価値を見出し、この地上での生をいかに全うするのかに通ずるものであったと思います。

#### ◆いかだレース

七月一七日（日）、狛江古代カップ第二六回多摩川いかだレース記念大会に、寮生有志が参加しました。五年連続五回目の出場となる今回は、いかだを一台新作して、二チームでの参加となりました。

前日まで雨や曇りが続いていた中、当日は曇り。昨年と比べると、川の水量が少なく、流れもほとんどありませんで



した。その分、自分たちでオールを漕がないとなかなか前に進まない様子でした。疲労困憊になりつつも、二チームとも無事にゴール。笑顔でカメラに向かってくれました。

（寮長 山吉智久）

# 聖書のいっば

## 『創世記』一章1-9節

旧約聖書の冒頭を飾る『創世

記』その中でも天地創造に始まる最初の1-11章は、学問的に「原初史」と呼び慣わされています。そこには、古代イスラエルの人々が、神を、世界を、自然を、人類を、そして自己をどのような存在として捉え、それらと向き合っていたのが、物語という形で展開されています。

今回は、この「原初史」の締め括りに当たる『創世記』一章1-9節に収録されている「バベルの塔」の物語をご紹介します。

◆◆◆

1世界中は同じ言葉を使って、同じように話していた。2東の方から移動してきた人々は、

シナルの地に平野を見つけ、

そこに住み着いた。3彼らは話し合った、「れんがを作り、それをよく焼こう」と。石の代わりにれんがを、しつくいの代わりにアスファルトを用いた。

4彼らは言った、「さあ、天まで届く塔のある町を建て、有名になろう。そして、全地に散らされることのないようにしよう」と。5ヤハウェは降つて来て、人の子らが建てた、塔のあるこの町を見て、6言った。「彼らは一つの民で、皆一つの言葉を話しているから、このようなことをし始めたのだ。これでは、彼らが何を企てても、妨げることほできない。7我々は降つて行って、直ちに彼らの言葉を混乱させ、互いの言葉が聞き分けられぬようにしてしまおう」。8ヤハウェは彼ら

をそこから全地に散らしたので、彼らはこの町の建設をやめた。9こういうわけで、この町の名はバベルと呼ばれた。ヤハウェがそこで全地の言葉を混乱(バブル)させ、また、ヤハウェがそこから彼らを全地に散らしたからである。

◆◆◆

この物語は、一見するに、今日、世界中に多様な言語が存在しているのは、バベルの塔を建設するというかつての人類の高ぶりに対し、神が審判を下した結果であるとの説明のよりに読めます。

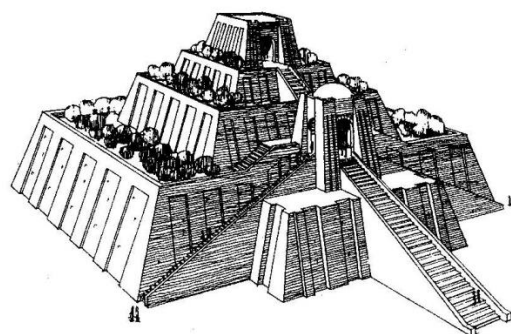
しかしこの物語のメッセージは、それだけに留まりません。この町の名バベルは、古代メソポタミアにおいて絶大な権力を振るつた、バビロニアの主都バビロンのヘブライ語の形でありま

した。そしてそこには実際に、巨大な塔がそびえていたのです。この塔は、ジックラトと呼ばれる階段状の建造物であり、高さ50mを超える巨大な代物でした。バビロンは当時まさに、神々の世界と地上をつなぐ世界の中心と理解されていたのです。

古代イスラエルの人々は、このバビロニアのジックラトを知っていたと思われま

す。彼らはこの強大な帝国に対する強烈な批判をこの物語の中に籠めたのです。絶大な権力と文明を誇るバベルは世界の中心として人々を統治するかに見えて、実は「混乱」(バブル)の源に他ならない、と。

ウル



畏敬の念を呼び起こし、権力の象徴と容易に結び付くからです。人間は、いつになっても、「バベルの塔」の建設を諦めようとしな

（山吉智久）

# 理事会・評議員会報告

## 1. 理事会、評議員会の開催

公益財団法人登戸学寮の定例理事会は二〇一六年三月九日(土)と五月二二日(土)に、定時評議員会は六月一八日(土)に登戸学寮で開催されました。以下にその議事内容について報告します。

## 2. 二〇一六年度事業計画、予算

三月の理事会(及びその後のみなし評議員会)で、別表(収支計算書)の通り新年度予算が承認されました。収入面では、入寮者を一三名、在寮生を年平均三二名と想定し、収入総額は、対前年比一八七万円減の三〇七六万円、支出面では、可能な限りの節減努力を行うこととし、二四四二万円(前年対比三

二七万円減)を計上しています。

支出におきましては、前年からの懸案であった本館浴室の工事費、隣地境界樹木の伐採費、さらには、大規模修繕への備えを予定しております。なお、新年度は、在寮生が三〇名と予算を二名下回っており、男子、女子ともに、空き室があります(計八室)ので、新入寮生のご紹介等につき、皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 3. 二〇一五年度決算

五月の理事会及び六月の定時評議員会で、別表(収支計算書、貸借対照表)の通り昨年度決算が承認されました。事業活動収入は、約三三〇〇万円で、寄付金の増加等により予算対比で四五万円増、事業活動支

## 貸借対照表

平成28年3月31日現在  
(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
<b>I 資産の部</b>			
流動資産			
現金預金	5,901,843	4,980,831	921,012
未収金	522,586	485,931	36,655
仮払金	0	59,521	-59,521
前払金	126,942	32,919	94,023
預け金	4,000,000	0	4,000,000
<b>流動資産合計</b>	<b>10,551,371</b>	<b>5,559,202</b>	<b>4,992,169</b>
固定資産			
基本財産			
土地	592,500	592,500	0
建物	140,215,658	146,265,494	-6,049,836
定期預金	10,000,000	10,000,000	0
基本財産合計	150,808,158	156,857,994	-6,049,836
特定資産			
建物再建特定積立資産	62,648,012	58,948,012	3,700,000
特定資産合計	62,648,012	58,948,012	3,700,000
その他固定資産合計	4,739,085	5,488,637	-749,552
<b>固定資産合計</b>	<b>218,195,255</b>	<b>221,294,643</b>	<b>-3,099,388</b>
<b>資産合計</b>	<b>228,746,626</b>	<b>226,853,845</b>	<b>1,892,781</b>
<b>II 負債の部</b>			
流動負債			
仮受金	0	19,807	-19,807
前受金	1,298,036	2,354,744	-1,056,708
未払金	1,016,552	1,573,373	-556,821
預り金	20,016	40,357	-20,341
入寮時預り金	660,000	690,000	-30,000
<b>流動負債合計</b>	<b>2,994,604</b>	<b>4,678,281</b>	<b>-1,683,677</b>
<b>固定負債合計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>負債合計</b>	<b>2,994,604</b>	<b>4,678,281</b>	<b>-1,683,677</b>
<b>III 正味財産の部</b>			
一般正味財産	225,752,022	222,175,564	3,576,458
(うち基本財産への充当額)	150,808,158	156,857,994	-6,049,836
(うち特定資産への充当額)	62,648,012	58,948,012	3,700,000
<b>正味財産合計</b>	<b>225,752,022</b>	<b>222,175,564</b>	<b>3,576,458</b>
<b>負債及び正味財産合計</b>	<b>228,746,626</b>	<b>226,853,845</b>	<b>1,892,781</b>

## 4. 特記事項

### (1) 寄附金

二〇一五年度の寄附金はお陰様で総寄付者数二八五名、寄付金総額(一般)は二七二万円となりました(寄付者氏名等詳細は誌面の都合で次号報告予定)。皆様方のご支援の賜物と厚く御礼申し上げます。二〇一六年は税額控除の申請更新年ですが、今年度も、これまで以上に、寮生の活動支援、生

活環境の維持・向上が図られるよう支援者の皆様のご寄付等のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

### (2) 耐震化対応

男子寮の耐震化対応は長年の課題でありましたが、今年に入って耐震診断(予備診断、本診断)を行い総合所見の結果、1階の階段付近の耐震補強(現時点での推定工事規模数百万円、工事期間一・五カ月)等で

出は、約三二七〇万円で、什器備品の充実、耐震診断への対応を図る一方、修繕費、光熱費、広報費等における大幅な経費節減効果で予算対比約五〇〇万円減となりました。この結果、次期繰越収支差額は約七五五万円となり、財務状況は大幅に改善いたしました。

収支計算書

平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで

(単位:円)

科目	予算額 a	決算額 b	差異 b-a	H28 予算額
<b>I 事業活動収支の部</b>				
事業活動収入				
<b>基本財産運用収入</b>	<b>45,000</b>	<b>3,338</b>	<b>-41,662</b>	<b>5,000</b>
基本財産受取利息収入	45,000	3,338	-41,662	5,000
<b>入寮費収入</b>	<b>1,950,000</b>	<b>2,250,000</b>	<b>300,000</b>	<b>1,350,000</b>
入寮費収入	1,950,000	2,250,000	300,000	1,350,000
<b>寮費収入</b>	<b>27,780,000</b>	<b>27,752,319</b>	<b>-27,681</b>	<b>26,700,000</b>
寮費収入(室料)	23,080,000	23,207,298	127,298	22,400,000
寮費収入(食事代)	3,800,000	3,614,796	-185,204	3,500,000
共益費等寮生徴収金	900,000	915,603	15,603	800,000
短期宿泊料収入	0	14,622	14,622	0
<b>寄付金収入</b>	<b>2,495,000</b>	<b>2,823,000</b>	<b>478,000</b>	<b>2,500,000</b>
雑収入	355,000	247,090	-107,910	205,000
<b>事業活動収入計</b>	<b>32,625,000</b>	<b>33,075,747</b>	<b>450,747</b>	<b>30,760,000</b>
事業活動支出				
人件費	10,050,000	9,559,319	-490,681	9,000,000
賄材料費	3,400,000	2,352,698	-1,047,302	3,100,000
会議費、役員会雑費	350,000	329,597	-20,403	510,000
寮生活動支援費	450,000	388,924	-61,076	550,000
旅費交通費・車両費	530,000	352,290	-177,710	220,000
通信運搬費	900,000	656,595	-243,405	600,000
消耗品費・事務用品費	900,000	407,914	-492,086	400,000
修繕費・什器備品費	1,200,000	978,133	-221,867	1,500,000
方舟刊行・印刷費	300,000	202,165	-97,835	300,000
講演会等諸雑費	120,000	161,730	41,730	120,000
水道光熱費	3,250,000	2,847,859	-402,141	3,250,000
広報費	1,200,000	656,876	-543,124	1,000,000
図書新聞費	190,000	46,145	-143,855	140,000
支払報酬料	1,720,000	897,154	-822,846	900,000
災害保険料・防災費	800,000	1,799,731	999,731	700,000
租税公課	350,000	350,260	260	350,000
支払手数料・その他	1,970,000	712,511	-1,257,489	1,770,000
<b>事業活動支出計</b>	<b>27,680,000</b>	<b>22,699,901</b>	<b>-4,980,099</b>	<b>24,410,000</b>
<b>事業活動収支差額</b>	<b>4,945,000</b>	<b>10,375,846</b>	<b>5,430,846</b>	<b>6,350,000</b>
<b>II 投資活動収支の部</b>				
投資活動収入	0	0	0	0
投資活動支出	4,100,000	3,700,000	-400,000	4,100,000
特定資産取得支出	3,700,000	3,700,000	0	3,700,000
建物再建特定積立資産取得支出	3,700,000	3,700,000	0	3,700,000
固定資産取得支出	400,000	0	-400,000	400,000
什器備品取得支出	400,000	0	-400,000	400,000
<b>投資活動収支差額</b>	<b>-4,100,000</b>	<b>-3,700,000</b>	<b>400,000</b>	<b>-4,100,000</b>
<b>当期収支差額</b>	<b>845,000</b>	<b>6,675,846</b>	<b>5,830,846</b>	<b>2,250,000</b>
<b>前期繰越収支差額</b>	<b>880,921</b>	<b>880,921</b>	<b>0</b>	<b>7,556,767</b>
<b>次期繰越収支差額</b>	<b>1,725,921</b>	<b>7,556,767</b>	<b>5,830,846</b>	<b>9,806,767</b>

対応できることが判明しました。耐震化工事は建物全体の補修工事も含めて六〇周年の記念事業の一環として行行予定で

業 (3) 登戸学寮創立六〇周年事

創立六〇周年を控えた記念事業としては、耐震化工事を含む設備更新事業に加えて、寮生の国際活動、留学生の支援も含む寮生活動支援事業を企画すべく、現時点では募金目標額三〇〇〇万円を想定して検

討を進めております。本件は今後募金計画書の作成と発起人のお願いを経て具体化を計画致しますので、皆様方のご支援を宜しくお願い申し上げます。

(理事 小島拓人・小西孝蔵)

コラム 俳句鑑賞の手引き(1)

俳人(学寮OB) 岸本尚毅

学寮OBの岸本と申します。会社員生活のかたわらに「俳人」をしています。このコーナーでは、俳句の読み方について、やさしい解説をこころみたいと思います。

俳句といえは松尾芭蕉。芭蕉といえは「古池」の句ですね。

古池や蛙飛び込む水の音 芭蕉

古池に蛙が飛び込んだ。ポチャン。以上終わり、です。しかしこの句をよく読むと、いろいろなところが気になります。たとえば、古池に飛び込んだのに、なぜ「古池や」なのでしょう。

「古池に蛙飛び込む水の音」では一応、俳句の形になっていますが、何となくサマにならない。「古池に」だと、文脈はそのまま「飛び込む」につながっていきます。しかし「古池や」とすると、「や」で一呼吸置く感じになります(俳人はこれを「切れ字」とか「切れ」と言います)。ようするに「古池や、ふーむ。古い池が一体どうしたんだろう」と、心の中でつぶやく。そしておもむろに読み下すと「蛙飛び込む水の音」。なーんだ、それだけのことか、と思つてホツとする。口元にかすかな微笑が浮かぶ。

川柳の笑いは、ウフツとか、アハツとか、はつきりとした笑いです。ところが「古池や」と言われても俳句は面白くもなんともない。しかし、その面白くなさそうなかから、ジワツと湧いてくるかすかな微笑が、俳句という文芸の本質なのではないか。

「古池や」「や」は、その「かすかな微笑」を導き出すための、ちよつとした「溜め」あるいは「間」のようなものではないか、と私は考えています。(続く)

# 寮友会より

## ご挨拶

### 寮友会会長 蟹江雅彦



この度は、「登戸学寮ニュース」の創刊、誠にありがとうございます。

振り返ってみますと、卒業生で組織化されている登戸学寮・寮友会の会長に私が就任してから、会員間の情報共有化を目的して、「寮友会ニュース」を二年半にわたって十回発行してまいりました。

今回、公益財団法人福島穆理事長のお考えによって、公益財団法人、学寮、寮友会が一体となった広報メディアとして「登戸学寮ニュース」がスタートすることに、心よりの敬意を表します。

また、この新メディアの編集を担当していただくことになつた寮長には、これから大変お世話になります。よろしくお願いします。

今まで「寮友会ニュース」で培ってきた卒業生間の情報共有化はこれからも寮友会にとつては大きな課題であることは変わりません。

好評をいただいている《卒業

生コメント》、《私たちは同県人です》、《同期生消息》コーナーはこれからも継続いたします。

## 『キャリア情報提供制度』ご案内

過日実施された寮友会役員会で、卒業生から現役寮生に対する「キャリア情報提供」システムの構築に関する議論を重ねた結果、登戸学寮・寮友会として寮生のお役にたつ新しい「登戸学寮・キャリア情報提供制度」をスタートさせることとなりましたので関係者の皆さんにご案内をいたします。

この制度は、卒業生の皆さんが身につけているキャリア情報としての専門的知識(Expertise)、エキスパティーズ)を、現役寮生の学業・論文等作成)や就職活動(企業・業界の研究)へのサポートに活用していただくという目的で設けられます。そこで、卒業生の皆さんに以下二点の協

すので、皆様からの投稿をお待ちしております。

力をお願いしたいと思います。

第一点は時間と能力の許す範囲内で結構ですが、寮生の論文や就活等に役立つ知見を提供して頂くことです。そして、第二点は、寮生から直接に照会メールが届いた場合に、親切かつ適切に対応して頂くということです。

それでは、この制度を具体的にどのように運用するかについて、以下にご説明いたします(注意していただきたいのは、現代学生の情報伝達手段はメール中心ですので、この制度はメールでの情報交換を前提として設計されている点です)。

- (1) キャリア情報を提供いただける卒業生は、自分のキャリア情報を寮友会長宛てにメールで連絡します。具体的には、「学歴：〇〇大学〇〇学科専攻〇〇」、「職歴：〇〇自動車(株)勤務。現在〇〇技術振興会顧問」、「提供できる情報：自動車に関する環境技術・環境規制自動車業界に関する情報」などと、これは記入例として一例ですが、専門性を分かりやすく簡潔に記してください。記名を忘れず、これらの情報を以下に記載の寮友会長のメールアドレスに送信してください(kamiemasahiko@icom.home.ne.jp)。
- (2) 寮友会長は、卒業生から受け取ったキャリア情報と氏名、メールアドレスをファイルし、情報漏えいしないよう細心の注意を払い一括管理をします。
- (3) 一方、卒業生から入手を期待する情報内容を、寮生からヒアリングして把握した寮長は、

それに関するキャリア情報者がいるかどうかを寮友会長に問い合わせをします。

(4)寮長から連絡を受けた寮友会長は、キャリア情報登録者の中に適格者がいるかどうかを調べます。適格者がいる場合は、寮友会長は該当卒業生にメールで協力を要請し、本人の了承を得た上で寮長に該当卒業生の氏名、入寮年次、メールアドレスを知らせします。該当者がいない場合はその旨を寮長に回答をします。

(5)寮友会長からキャリア情報提供者の氏名とメールアドレスを受けた寮長は、該当卒業生に情報を提供します。該当卒業生は登録キャリア情報提供者にメールで直接連絡を入れ、自分の希望を伝えます。

以上が新たに構築した『登戸学寮・キャリア情報提供制度』の骨子です。

この制度のスタートは、本紙発行時からです。この紙面を読んで共感し、協力をしていただけの卒業生は、すぐに記載例のごとく、キャリア情報を具体的に記し寮友会長あてにメール送信してください。

昨今個人情報管理の在り方に関する議論が盛んになっているように、中途半端に情報を開示し、それが故に混乱をもたらす事例が頻発しています。

これを避けるためには、情報を一元的に管理し、それを必要とする方との間にマンツーマンで情報をやり取りする仕組みが必要となります。

今回の『登戸学寮・キャリア情報提供制度』は、卒業生の窓口を寮友会長に、寮生の窓口を寮長に一元化している点が特徴です。卒業生のキャリア情報および寮生が取得を希望している情報は一切開示されることはありませんので、安心して下

さい。

最後になりますが、ご自身のビジネス等に寮生を利用するようなことは絶対に行わないようにしてください。純粋に寮生の

## ※ 卒業生コメントコーナー ※

『寮友会ニュース』の二〇一六年冬号と春号では、卒業生の「近況」を写真付きでお届けする「卒業生コメントコーナー」において、数多くの卒業生の近況を掲載しました。

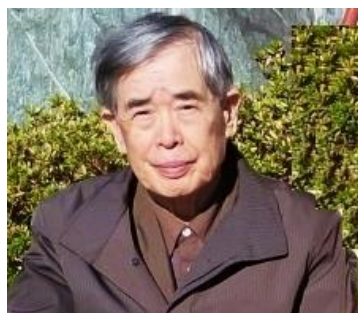
紙名は「寮友会ニュース」から「登戸学寮ニュース」に変更されましたが、創刊号である本号にも三名の卒業生から投稿がありましたので掲載します。

まだ投稿をいただけていない登戸学寮卒業生の皆さんにぜひ近況の投稿をお願いします。文字数は二〇〇字から三〇〇字くらいで、その近況を象徴する写真があると最高です。

役に立つことを目的にした制度ですので、自分のためだけでなく寮生のためになるべく対応してくださることを条件としている点を重ねて強調しておきます。

◎高木謙次さん←

(一九六一年入寮、千葉県習志野市在住)



「本年三月、市川市文化会館は開館して三〇周年、その祝いの折、感謝状をいただいた。開館して一年を経たころから会議室を「市川聖書集會」が連続

利用してきた。そのことが表彰されたのである。

借用前は約一〇年、自宅で家庭集會を開いていた。登戸学寮三代目の寮長をなさった村井長正先生が、習志野にある日大生産工学部の学生と近くの幼稚園を会場として聖書集會をもたれていたが、閉園となるので会場を探しておられた。高橋三郎先生から高木君と協同で集會をされたらどうかと打診され、即刻OKした。

村井先生宅に打ち合わせのため参上した。その折、先生は祈られた。それが長時間で、頭が重くなり、首が耐えられなくなり、困ったなあ、と思つたことは忘れられない。

先生は大学の務めも終え、高齢のために集會を引かれるまで八年間共にした。

先生が亡くなられた後も村井和子夫人は、参加されて私どもを励ましてくださった。

高橋寮長のもとで信仰を学び、村井寮長夫妻、現在は徳光猛夫妻、奈良良一夫妻など学寮関係者と協同して継続している。

◎今西勝裕さん←

(一九六五年入寮、長野県小県郡青木村在住)

「朝は五時に起きてしまう。

今朝は『おおよやまけんげ』が咲いてくれた。標高一六〇〇米。朝七時に出て一時間かけて出勤。夜、満天の星の下を帰宅。

身体、精神に障害を持つ人と仕事を三〇年してきたがもう力がない。里が矢野君に近く九州に帰ると楽しみだったが、急遽を牛見君から連絡あり訪ねた。更生保護司をしていたらしい。激務だったようだ。

父の戦死の地の印度を数年前から毎年訪ねている。私個人としての納得のため。

趣味の Viola da gamba を夜

中に森の中で一人弾く。こんな近況」。

◎古角 修さん←

(一九六七年入寮、東京都日野市在住)



「私は現在、タカナシ乳業の宅配ショップをやっています。この商売を始めて一七年になります。朝の三時頃から七時頃までの間に、予め契約をしているお客様宅に商品を届けるのが主な仕事です。

月曜から土曜日まで毎日「軽」で配達します。その他に

月末には集金の仕事がありま  
す。が、これは運動を兼ねて主  
に自転車で回っています。

健康でないといけない仕事

### ■ 私たちは同県人です ■

本号は青森県(四名)と静岡  
県にお住まいの卒業生(一二名)  
をご案内いたします。

#### ❁青森県の巻❁

◎一九八六年入寮

今井正浩さん 弘前市

◎一九九四年入寮

島津 信さん 青森市

◎二〇〇五年入寮

中田隆昭さん 弘前市

◎二〇〇七年入寮

小森田真悟さん 十和田市

#### ❁静岡県の巻❁

◎一九五八年入寮

岩谷三四郎さん 田方郡函南町

ですが、今のところその点は問  
題がないので、当分続けたいと  
思っています。」

◎一九六二年入寮

興津修司さん 藤枝市

◎一九六三年入寮

大久保武輝さん 静岡市清水区

◎一九六六年入寮

杉本 昴さん 静岡市葵区

◎一九六六年入寮

望月 昭さん 静岡市駿河区

◎一九七四年入寮

酒井英俊さん 静岡市葵区

◎一九七六年入寮

加藤忠義さん 駿東郡長泉町

◎一九七七年入寮

本田誠治さん 静岡市葵区

◎一九八六年入寮

三島 昌さん 磐田市

◎一九九二年入寮

安達和彦さん 藤枝市

◎二〇〇〇年入寮  
田中博晃さん 静岡市葵区  
◎二〇〇七年入寮  
山崎 啓さん 静岡市葵区

### ■ 同期生消息 ■

(一九六八年入寮)

本号は、登戸学寮の二期生  
の方々の消息をお伝えします。

●寮友会二期生会員の消息

◎陣内耕也さん

佐賀県神埼市在住

◎四方田文夫さん

兵庫県神戸市在住

◎石原能行さん

千葉県浦安市在住

◎大隈光典さん

大分県中津市在住

◎岡崎新太郎さん

山口県下関市在住

◎桂 秀次郎さん

広島県広島市在住

◎北爪文義さん

新潟県新潟市在住



◎小田部哲也さん

東京都小金井市在住

◎小田部 裕さん

東京都小金井市在

●入寮年時寮長 村井長正先生

これらのデータは、全て寮友  
会名簿に基づいておりますが、  
必ずしも事実が正確に記されて  
いるわけではありませんので、  
間違いを見つけた方は、寮友会  
会長にご一報をお願いします。

●一九六八(昭和42)年の主な  
出来事

一月九日 東京オリンピックのマ  
ラソンで銅メダルの円谷幸吉  
「もう走れませんか」と遺書を  
残して自殺。

二月二六日 成田市で新空港反  
対による成田闘争が本格  
化。

二月 大塚食品工業から「ボン  
カレー」新発売。



三月一六日 南ベトナムのソンミ

村で米軍による村民虐殺事  
件が起きる。

四月四日 アメリカ合衆国の黒  
人公民権指導者のマーチン・  
ルーサー・キング牧師が狙撃  
されて死亡。



四月一八日 日本一のつばの三  
六階建ての霞が関ビルが竣  
工。

六月六日 アメリカ合衆国大統  
候補のロバート・ケネディ

が狙撃され死亡。

八月八日 和田寿郎札幌医大教  
授、日本初の心臓移植手術  
を行う。

一〇月二二日 メキシコオリン  
ピック開催。



一〇月一七日 川端康成、ノー  
ベル文学賞受賞が決定。

一月六日 アメリカ合衆国の  
大統領選挙でニクソン当選。  
大統領選挙でニクソン当選。  
一二月一〇日 東京都府中市で  
三億円強奪事件が発生。



一二月二四日 米宇宙船アポロ

八号、初の有人月周回飛行

### 寮友会総会のご案内

毎年恒例となっている寮友会  
総会ですが、本年は十一月二  
十六日(土)十一時から登戸  
学寮で開催いたしますので、会  
員の皆さんにご案内いたしま  
す。

昨年まで、総会終了後に寮  
友会主催交流会を実施してお  
りましたが、本年はございま  
せん。

これに代わって、当日の午後  
に同じ登戸学寮にてHCD(ホ  
ームカミングデー)イベントが  
予定されていますので、ぜひ登  
戸学寮にお出かけください。

寮友会総会での審議事項は、  
・一号議案 前年度事業報告  
・二号議案 前年度決算およ  
び監査報告

に成功し、月面をテレビ放送。

・三号議案 新年度役員選出、  
・四号議案 新年度事業計画、  
・五号議案 新年度予算、  
の五つとなっております。

全ての議案に関しては、総会  
当日に資料を配布します。

なお、総会及びHCDの詳細  
については、十月初旬に卒寮生  
各位に再度案内文書をお届け  
することを考えていますが、  
取り急ぎスケジュール表に予定  
を記入していただければ幸い  
です。  
(蟹江雅彦)

# ご案内

一月二十六日(土)午後、登戸学寮にてホームカミングデーを開催いたします。

皆さまに有意義で楽しい時間をとお過ごしいただけるよう、今年は若手OBが中心となり準備を進めています。先輩・後輩・同期の皆さまをお誘いの上、ぜひご参加ください。【関連記事11頁】

(理事 織田千尋)

長らく作業を進めてまいりました拙訳書『旧約新約 聖書神学事典』(A・ベルレング／C・フレッフェル編)が、年内に教文館より刊行の予定です。

また山川出版社より近刊予定の『名著で読む世界史一二〇』にて、「ギルガメシュ叙事詩」の項を執筆しております。ご高覧いただけましたら幸いです。  
(山吉智久)

## 入寮のご案内

登戸学寮では入寮をご希望される方を随時受け付けています。

入寮をご希望される方、検討されている方は、お気軽に以下のお問い合わせ先までご連絡ください。

なお定員を満した場合には、受付を締め切らせていただきますのでご了承ください。

・電話でのご相談(11:00～20:00):044-933-0819

・メールでのご相談:noborito@gakuryo.or.jp

学寮ホームページ(アドレス、<http://gakuryo.or.jp/>)もご参考ください。

### 初期費用

内 訳	金 額(備 考)
入寮費	15万円 (入寮時のみ。契約更新手数料はありません)
預り金	3万円 (退寮時の清掃費・補修代。精算し余剰金がある場合は返金)

### 寮費

	男子寮 A タイプ	男子寮 B タイプ	女子寮
1ヶ月の費用	広さ 約 5.4 畳 部屋数 18 室	広さ 7.8 畳 部屋数 6 室	広さ 6.2 畳 部屋数 15 室
住居費	55,500 円	58,500 円	60,500 円
食費(朝・夕)	13,500 円(日曜は夕食なし、祝日・閉寮期間(注1)の食事はありません)		
共益費	2,300 円(水道・ガス、および共用施設の費用)		
合 計	71,300 円	74,300 円	76,300 円
その他実費	個室の電気代実費 乾燥機の使用料=1 回につき 100 円		

(注1)閉寮期間は年度によって異なります

2016 年度は 夏期:8月1日～9月10日

冬期:12月23日～1月5日

春期:学期末～次年度初め